

島田市受け入れ表明

静岡県
東北、東京以外で初

静岡県島田市の桜井勝郎

市長は15日、東日本大震災で発生した岩手県大槌、山田両町のがれき受け入れを正式に表明した。政府が広域処理への取り組みを本格化させる中、実際に始まれば、東北地方と東京都以外で初の受け入れとなる。

市長が記者会見で明らかにした。市は年間5千トンの焼却を目指しており、市長は「片付くまで受け入れたい」と述べた。

がれき受け入れに対しては、放射性物質の影響を懸念する各地の住民が反発。被災地から遠く離れた島田市が先行することで、停滞しているがれき処理の広域化に弾みが付く可能性がある。

市は国や県と輸送態勢などを協議する。市長は新茶の収穫期を迎える茶農家に配慮する姿勢も見せていたが、会見で「今月末までになんとか受け入れたい」と

明言した。

市内のごみ焼却施設「田代環境プラザ」で燃やし、最終処分場に灰を埋める予定。処分場の地権者は反対しており、近く面談して理解を求める。

市長は、地権者と結んでいる契約によると、安全基準を下回るがれきの焼却灰を埋めても法的問題はないと説明したが、市は県外の処分場に埋めることも検討している。